



しらやま

白山小学校だより No.8

令和2年6月22日

◆◆◆◆ あじさいの花 ◆◆◆◆



体育館前に咲くあじさい

県内も梅雨入りしたと思ったら、先日の14日は前線の活発な活動により大雨。その後も前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多かったのですが、梅雨のじめじめする時期に心を和ましてくれるのがあじさいです。体育館前や校舎南側にある本校のあじさいも満開を迎えていました。このあじさいの花の色には土の酸性度が関係していて、酸性だと青くなり、アルカリ性だと赤くなるそうです。また、青やピンク、白、紫色などの花に見えるところは、実は花びらではなく顎(がく)が大きく発達したもので、中心部に小さく咲いているのが本当の花なのです。

あじさいの花

坂村 真民

まるくまるく
形のよいものになろうとする
やさしい心の
あじさいの花
きのうよりもきょうと
新しい色になろうとする
雨の日の
あじさいの花

ところで、詩人に坂村真民さんという方がいます。「念ずれば花ひらく」「二度とない人生だから」などたくさんの詩を残されていますが、その中から今日は「あじさいの花」を紹介します。

あじさいは、詩にあるように花や顎がたくさん集まって「まるく形のよいものになろうとする」ことから、「一家団欒(だんらん)」「家族の結びつき」を表すともいわれています。そして、花の色が変わることから「七変化」とも呼ばれることがあります。坂村真民さんは、あじさいに優しさとともに、日々変化し向上しようとする心を感じ取ったのではないのでしょうか。日常の生活様式が以前と変わってきていますが、変わることは向上することと考えて、前向きに歩み続けていきたいものです。



町たんけん

(6/17 2年生)

文化財に指定されている小泉家や白山神社を目にできました。お店や郵便局では、たくさん質問ができました。



大豆の苗植え

(6/17 3・4年生)

1人5本ずつ苗を植えました。収穫した大豆で、公民館や地元の人々の協力を得て「味噌づくり」を行う予定です。



学校田の草取り

(6/17 6年生)

今年初めての草取り。予想以上に多くの雑草が生えていました。今年は収穫量と雑草の関係調べていきます。